

● (様式2) 事業計画書の記載要領

※ 全ての項目について記述すること

①設置場所

調整池の太平橋北側に、設置範囲を図示すること。
※任意の図面で作成し、添付すること。

②設置工事価格

税込価格、税抜価格をそれぞれ記載すること。

③施工方法 (水上太陽光発電設備設置工事)

次の項目について、それぞれ記載すること。

- (ア) 水上太陽光発電設備を設置する工法
- (イ) 工事における材料等の搬出入方法及び安全管理体制
- (ウ) 避雷設備に対する対応方法
- (エ) アからウを表した図面 ※任意の図面で作成し、添付すること。

④工事等の外注先の概要 (工種ごと、名称、所在地、実績等)

次の項目について、工種ごとにそれぞれ記載すること。

- (ア) 外注先の名称
- (イ) 所在地
- (ウ) 実績等

⑤維持管理方法 (管理方法・体制、非常時の対応等)

水上太陽光発電設備を設置した後の管理方法等に関する次の項目について、方針を提示すること。

- (ア) 管理業務を行う事業者
水上太陽光発電設備の管理業務を行う事業者の概要
(名称、所在地、代表者職名・氏名、設立年月日、資本金、従業員数、主な事業内容・実績等)
※応募者と同一の場合は、「企画提案参加者 (代表者) 概要に同じ」と記載すること。
- (イ) 管理業務に関する人員体制、緊急時等の連絡体制
- (ウ) 発電状況の監視方法及び定期点検等
日々の発電量等を監視する方法及び体制並びに維持管理のための定期点検等の内容、頻度
- (エ) 経年劣化に伴う部品等の更新計画
- (オ) 発電設備の維持管理等
発電設備に対し、どのような管理を行うのかを具体的に記載す

ること。

また、水質、アオコ等の生態系に対する影響などの対応を具体的に記載すること。

⑥安全性等の確認

次の項目について、それぞれ記載すること。

- (ア) 大雨による水位の上昇、暴風に対して安全であるかどうかの確認方法
- (イ) 太陽光の反射光による影響がないかどうかの確認方法

⑦発電設備に対する損害保険等の加入や管理内容

次の項目について、それぞれ記載すること。

- (ア) 契約の締結を予定している損害保険・賠償責任保険の内容、保険金額
加入保険内容が確定していない場合は、予定を記載すること。
- (イ) 保険に加入しない場合や保険以外の発電設備に対する管理内容